

神奈川県議会議員選挙選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

いちから。いちかわ
その先のかながわへ!!
いちから変える!3つの提言!!

1 子どもたちのミライへ~
教育立県!かながわ
教育こそ最大の成長戦略~ 教育の質を高め、
自信がもてる、知・体・心バランスのとれた教育を

2 高齢者が安心できるミライへ~
つながる!かながわ
高齢者の不安によりそい、一人暮らしでも孤立しない
社会へ
人と人、人と地域の「つながり」にもっと予算を

3 だれもが輝くミライへ~
女性の視点で!共生のかながわ
女性の視点で古い価値観を打ち破り、時代に合つた
政治を!
原発ゼロを目指し、女性が活躍する多様性を認め
合うかながわへ

市川よしこの県議会での主な実績

- 県地震防災戦略に、新たに「帰宅困難者対策」を追加
- 北加瀬の県公社住宅に保育園を併設
- 県営住宅駐車場活用で新たな収入 など

■川崎生まれ川崎育ち 第一ひかり幼稚園 聖ヨゼフ学園
Profile 慶應義塾大学文学部卒業
■元川崎市議会議員 県議2期 ■夫・長女・犬3匹

HP <https://www.ichikawa-yoshiko.jp>

市川よしこ
立憲民主党

自民党
地域に活力!
決める。進める。



自民党公認

田中徳一郎
とくいちらう
38歳

□成長戦略へのチャレンジ!

ラグビーW杯2019や東京2020五輪大会を契機とする国際観光や商業誘致で世界の「KANAGAWA」を確立します。インバウンドの受皿として流通のキャッシュレス化や、県域レベルでの労働生産性の向上を呼び込み、ビッグデータが活きるSociety(ソサエティ)5.0が導く新時代を構築します。

□地域へのチャレンジ!

国政と市政をつなげる広域自治体として、安定した地域医療構想の実現に取り組み、県民皆様へサービス提供に努めます。品質確保に係る入札制度や、雇用と働き方改革のバランスを図る事で地元企業の活性を目指します。地域文化や歴史風土を大事にする郷土愛溢れた次代へ誇れる神奈川を醸成します。

□暮らしへのチャレンジ!

生活が多様化する社会では情操教育や治安の向上が大切です。国連加盟国が全会一致で採択した「誰一人取り残さない」為のSDGs理念の共有、再犯防止推進計画の策定に努めます。県行政や警察機関、そして教育機関や地域の諸団体の皆様を始めとする連携を育み、安全で豊かな暮らしを創造します。

《プロフィール》

1981年 川崎市幸区河原町にて出生
1999年 芝学園(芝中学校・高校)卒業
2003年 青山学院大学(法学部)卒業
2010年 (株)長谷工コーポレーション 退職
2011年 神奈川県議会議員 初当選
2015年 神奈川県議会議員 2期連続当選
《経歴》

○神奈川県議会厚生常任委員会 委員長
○日本青年会議所神奈川ブロック協議会 前会長
○川崎商工会議所少壮経済人懇談会 世話人
○保護司 他

〈Eメール〉tanaka@tokuichiro.info
〈ホームページ〉<http://www.tokuichiro.info/>

幸区から市民の 声を県政へ



西尾りえ子
にしおりえこ
38歳

川崎市議会議員、川崎医療生協の理事などの活動を通じ、県政の医療と教育などの現状があまりにもひどく、我慢できませんでした。幸区から「県民の生活をささえる県政」をとりもどすために、県議会で働きさせてください。

- 小中全年齢で少人数学級実現と
- 県の医療費助成を中学卒業まで実施
- 中学校給食の設備費などへ
- 正規の教員を増やす
- 県の支援を
- 保育士の待遇改善
- 保育所の待機児童解消、
- 均等割なくす
- 特別養護老人ホームの増設、
- 介護職員の待遇改善
- 中小企業予算増額、
- 最低賃金は時給1500円に
- 平和な墓地もない神奈川をめざす

元川崎市議、党幸区県政・生活相談員
略歴/1946年1月、東京都墨田区生まれ。都立台東商業高校卒、三菱銀行本店に26年間勤務。働く女性の権利向上に貢献、1999年から川崎市議会議員1期。現在、幸区原水協事務局長、川崎医療生協理事、NPOレインボーサービス付高齢者住宅相談員として活動。

西尾りえ子 検索

安倍政治ストップ
消費税10%への増税中止を
憲法9条「改憲」ノー

日本共産党